



発行：さよなら原発ひたちなか市実行委員会

連絡先：茨城県ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤英一 (TEL:029-273-4775)

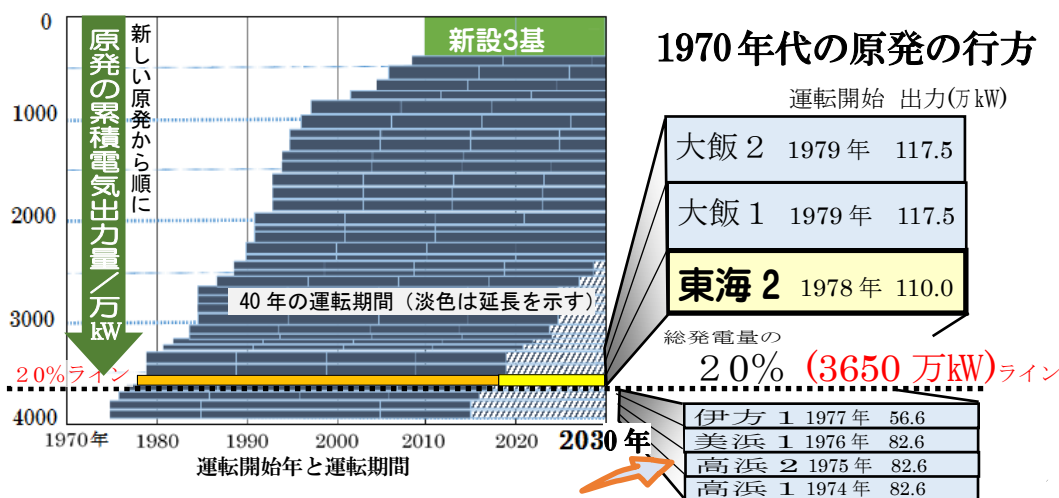
## 東海第二原発 2030 年以後も使用？

.....安倍政権の「電源構成」案 (4/28 公表).....

安倍政権は、新規規制基準に合格した原発は再稼働させ、15 年後の 2030 年においても総発電量の 22~20% (2,317~2,168 億 kW・h [キロワット・時]) を原発によってまかなう方針です。下限の 2,168 億 kW・h に達するには、建設中の 3 原発の稼働や、現存原発 43 基のうち運転開始から 40 年以内の原発だけでは不足で、40 年制限を無視し、その時点で 52 年超の東海第二原発も使い続ける計算になります。

なお、県も地元も反対の福島第二原発 (4 基) と、活断層上の敦賀 2 号、志賀 1 号の計 6 基は稼働できないと仮定。年間の電力 2,168 億 kW・h 確保に必要な原発の発電能力は最低でも (稼働率 67.8% として) 電気出力 3,650 万 kW で、それに要する稼働原発は下の図の通りになります。

### 2030 年時点で 原発出力 3,650 万 kW に必要な原発



上限 22% なら全基使用？

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！  
 ◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。  
 子供たちに、安全な未来を  
 ◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

海渡雄一弁護士の「東海第二原発裁判講演」(1/31) DVD無料貸出し 希望者募集

ニュース さよなら原発 まき手募集

10 枚でも 20 枚でも結構です。まいて下さる方が、4 人、5 人と増えています。

029-273-4775 へ連絡下さい。



政府宣伝

## 「世界で最も厳しい“新”規制基準」は 作り方自体が 間違い

規制規準の正しい作り方は、(1) 人類が誕生以来 100 万年間に起きた最大の地震動・津波という具合に、全て最大をとること (2) 多分、マグニチュード 9、加速度 5000\*ガル、最大津波 50m が発生しても何ら損傷を生じないことが新基準になる。現在の“新”規制基準は全く不十分です。

\*岩手・宮城内陸地震 (2008 年 6 月 14 日) では 4,022 ガルを観測。